

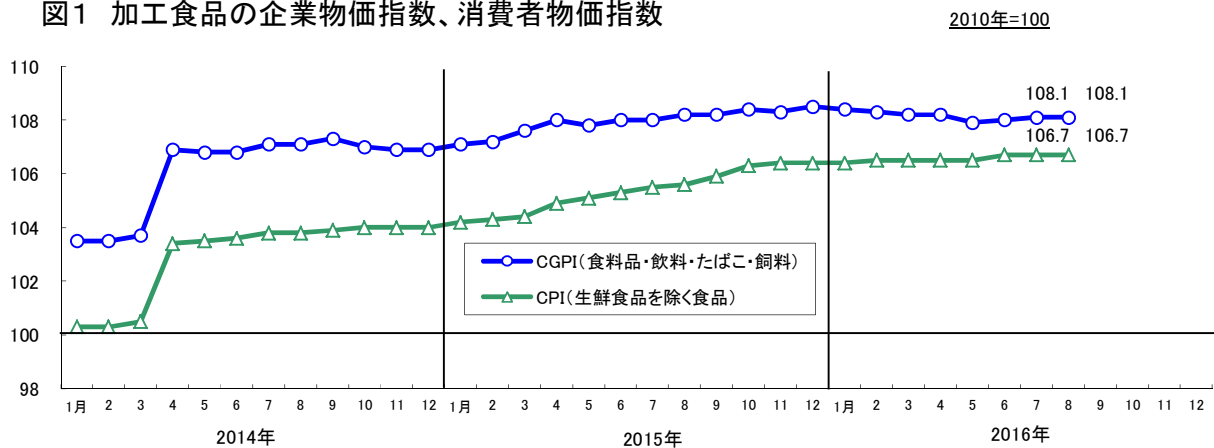
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価及び消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、2014年4月からの消費税引き上げにより上昇し、108.1と高水準で推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食品）は同106.7で、企業物価指数と同様に上昇基調となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



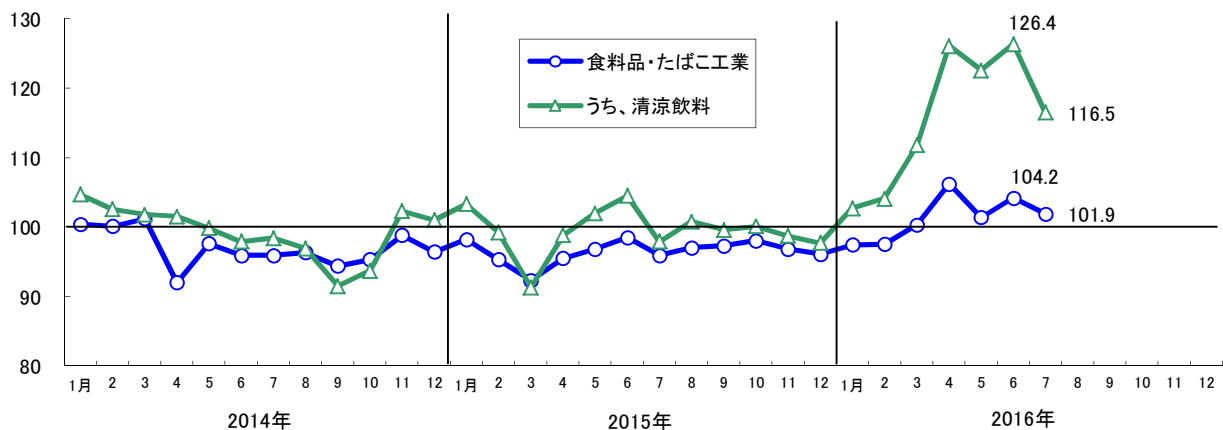
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに低下、うち、清涼飲料は同かなりの程度低下

2016年7月の食料品・たばこ工業の生産指数は、101.9で前月比▲2.2%とわずかに低下となった。うち、清涼飲料は116.5で前月比▲7.8%とかなりの程度低下となった。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



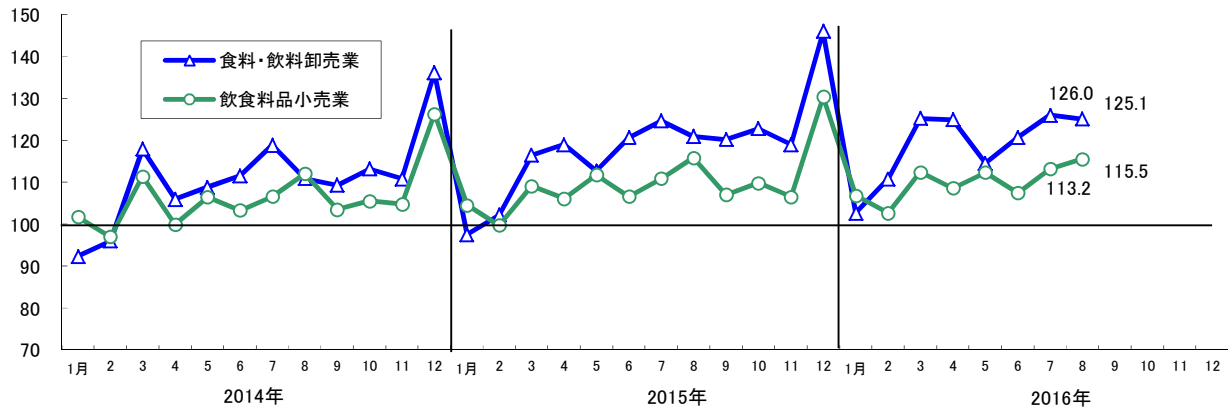
資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや上昇、小売業販売額は同横ばい

2016年8月の食料・飲料卸売業の販売額指数は125.1で対前年同月比3.5%とやや上昇した。飲食料品小売業の販売額指数は115.5で同▲0.3%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向



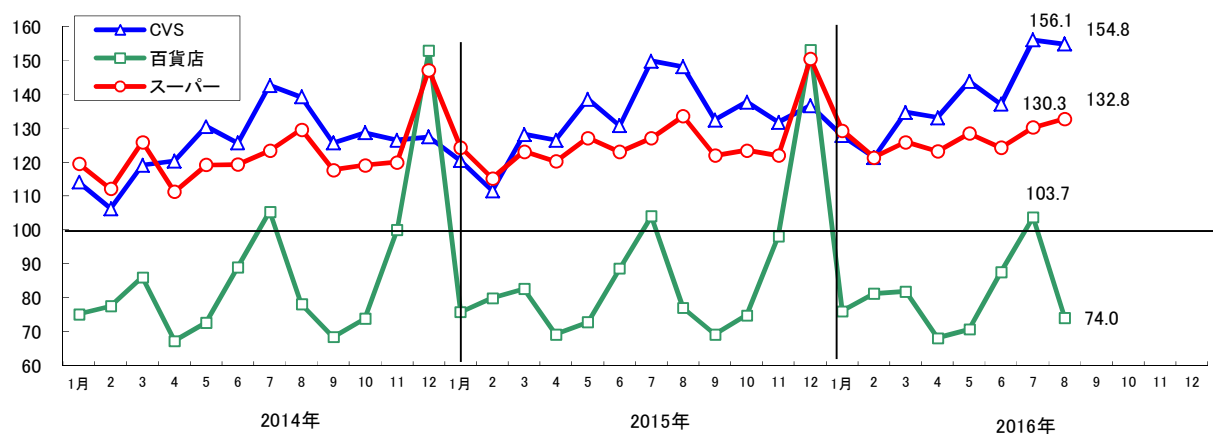
資料:経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVSは対前年同月比でやや増加、スーパーは同横ばい、百貨店は同やや減少

2016年8月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは154.8で対前年同月比4.5%とやや増加、スーパーは132.8で前年同月比▲0.6%と横ばい、百貨店は74.0で前年同月比▲3.8%とやや減少で、コンビニエンスストアは堅調に推移した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。